



# 複合環境条件における振動試験

温湿度環境と振動試験を組み合わせた複合環境条件での信頼性試験が可能です。

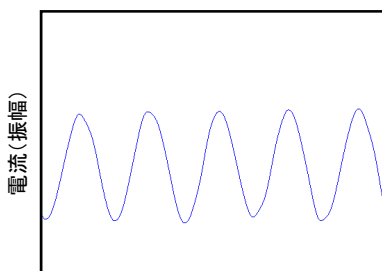
## 製品の使用環境を模擬した振動試験の実施

比較的環境の良い室内試験で自動車部品単体の耐久性能を把握していても、実際の環境下では結果が変わってしまうことがあります。当社では、温湿度環境と振動環境を組み合わせた実環境に近い複合環境条件で、信頼性試験を実施することができます。

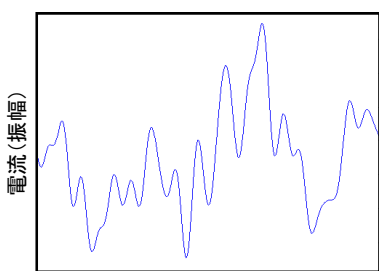
## 正確な波形モードの出力

種々の振動波形を5Hz～2000Hzの広い振動数範囲にわたって正確に作り出すことができます。

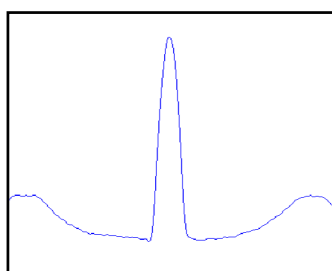
- SINE振動波形
- RANDOM振動波形
- SHOCK振動波形(衝撃振動波形)
- 実測波振動波形 など



SINE振動波形



RANDOM振動波形



SHOCK振動波形

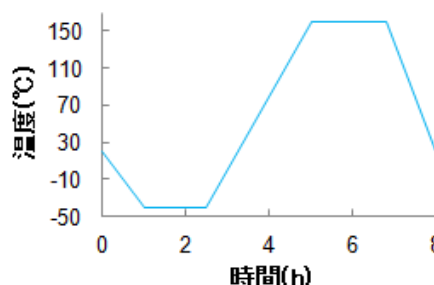
## 恒温恒湿チャンバー

恒温恒湿チャンバーは、内容積の広さが約1m<sup>3</sup>あり、大型・重量物の振動試験に対応できます。また、-70℃～+180℃の広い温度範囲での試験が可能のため、急激な温度変化を与えることも可能です。湿度は最大98%まで制御できます。



## 車載部品の振動試験(例)

車載部品の振動試験で実施した温度サイクルの一例です。



## 振動試験に必要な治具の保有

当社では、振動試験装置にサンプルを取り付けるための治具を多数保有しております。サンプルを取り付けるために新たな治具が必要な場合は、治具の設計製作も承りますので、ぜひご相談ください。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2017 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。